



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社

コード番号 8129

URL <https://www.tohohd.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役CEO兼CFO (氏名) 枝廣 弘巳

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営戦略本部長 (氏名) 河村 真 (TEL) 03(6838)2803

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,162,052	3.8	14,329	23.7	16,052	17.9	10,252	△23.9
2024年3月期第3四半期	1,119,549	5.6	11,581	3.7	13,618	1.4	13,470	41.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 13,590百万円( 9.7%) 2024年3月期第3四半期 12,383百万円( 38.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	161.63	145.34
2024年3月期第3四半期	207.25	186.20

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	820,458	259,849	31.6
2024年3月期	773,427	249,437	32.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 259,607百万円 2024年3月期 249,188百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	40.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期配当金の内訳 記念配当 4円00銭 普通配当 36円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,492,000	1.0	18,200	△5.9	20,100	△7.7	16,900	△18.2	268.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	76,431,342株	2024年3月期	76,431,342株
2025年3月期3Q	12,514,401株	2024年3月期	13,650,854株
2025年3月期3Q	63,434,461株	2024年3月期3Q	64,993,543株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における医療用医薬品市場は、10月から長期収載品の選定療養が導入され、後発医薬品への切り替えが進みました。一方で、インフルエンザの感染拡大に伴うワクチンや治療薬の売上伸長等の影響により、市場はプラス成長となりました。

当社グループにおいては2023年からの3カ年を期間とする中期経営計画2023-2025「次代を創る」を策定し、(1)事業変革、(2)成長投資・収益性向上、(3)サステナビリティ経営、(4)資本効率の改善と株主還元の向上、の4つを基本方針として掲げ、積極的なアライアンスやDXの推進などにより持続的成長と企業価値向上のための具体的施策を推進しております。また、当中期経営計画の実効性を高め、その取り組みを加速させるため、新たな数値目標やロードマップを織り込んだ実行計画を2024年11月に策定しました。具体的には、2029年3月期に連結ベースで営業利益率1.5%以上、及び、ROE 8%以上を達成することを目標に掲げ、事業戦略の実行と数値目標の達成に必要な投資とその資金の確保に向けたキャピタルアロケーションを明確化しております。さらに、本実行計画をトランスフォーメーションプロジェクトと名付け、代表取締役CEOをプロジェクトオーナーとした推進体制を構築し、全社一丸となった取り組みを開始しました。

中期経営計画の具体的施策に沿った取り組みとしては、医薬品卸売事業において2026年4月のスタートを目指す二次医療圏を軸とした「チーム制」への移行に向けて、引き続き医薬MSと検査薬MSによる共同施策を推進するとともに、11月には白河営業所と苫小牧営業所を廃止しそれぞれ郡山営業所と札幌営業所に統合するなど営業拠点の統廃合を進めました。また、本社間接部門の改革を図るため、2024年10月に管理部門の組織変更を行いました。さらに資本効率の改善と株主還元の向上を図るべく、自己株式の取得を進めるとともに、「2026年3月期までにDOE 2%」との配当方針に沿って、2024年11月に期末配当を期初予想の1株当たり25円から15円増配の40円とし、年間配当を65円とすることを決定しております。

また、サステナビリティ経営推進の具体的施策の一つであるガバナンスの更なる強化については、8月に取締役会の諮問機関として設置したガバナンス強化特別委員会において議論、検討を続けてまいりましたが、概ね方向性が見えてきたことから本日開催の当社取締役会において同委員会から中間答申が報告されました。今後、当中間答申に沿って改善に取り組んでまいります。なお、同委員会については今夏まで継続する予定としております。

当第3四半期の連結業績は、売上高1,162,052百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益14,329百万円（前年同期比23.7%増）、経常利益16,052百万円（前年同期比17.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,252百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業においては、選定療養の導入に伴う後発医薬品の使用促進の影響がみられました。その一方で、2024年10月から自治体による新型コロナウイルスワクチンの定期接種が開始されたことに伴い、ワクチンの売上が増加しました。また、インフルエンザの感染拡大による治療薬の売上増加があった他、スペシャリティ医薬品をはじめとする、取扱卸を限定する製品の売上が引き続き堅調に伸長しました。医療機関との価格交渉においては、2024年3月に改訂された流通改善ガイドラインを遵守すべく、個々の製品価値と流通コストに見合った単品単価交渉に引き続き取り組むとともに、特に医療上の必要性の高い医薬品については別枠での交渉に努めました。これらの取り組みの結果、当第3四半期の医薬品卸売事業の売上高は1,121,371百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は14,262百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

調剤薬局事業においては、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染拡大に伴い処方箋枚数が増加しました。また、調剤報酬改定への対応を進めるとともに、マイナ保険証の利用促進等による薬局DXの推進や、在宅医療への貢献に向けた変革を推進するため、在宅専門診療所との連携強化に取り組みました。当第3四半期の業績は、売上高は72,220百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は734百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

医薬品製造販売事業においては、12月にジェネリック医薬品2成分3品目を新たに販売しました。また、自社で構築した独自の検証システムに基づく徹底した品質管理と、計画的な生産体制の構築により、高品質・高付加価値な医薬品の安定供給に取り組みました。当第3四半期の業績は売上高8,662百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益（営業利益）543百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

その他周辺事業においては、売上高は5,111百万円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益（営業利益）は513百万円（前年同期比98.4%増）となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、638,796百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が30,332百万円、商品及び製品が16,771万円それぞれ増加し、現金及び預金が17,261百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、181,661百万円となりました。これは、投資その他の資産のその他のうち投資有価証券が6,567百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、820,458百万円となりました。

### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.2%増加し、514,877百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が55,611百万円増加し、未払法人税等が5,779百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.2%減少し、45,731百万円となりました。これは、社債が8,947百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.0%増加し、560,609百万円となりました。

### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、259,849百万円となりました。これは、利益剰余金が7,550百万円、その他有価証券評価差額金が3,326百万円それぞれ増加したこと等によります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月15日の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上及び2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました2025年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	132,970	115,708
受取手形及び売掛金	338,726	369,058
商品及び製品	87,107	103,879
原材料及び貯蔵品	180	248
その他	39,263	50,325
貸倒引当金	△359	△424
流動資産合計	597,888	638,796
固定資産		
有形固定資産	87,478	87,313
無形固定資産		
のれん	297	222
その他	5,339	5,655
無形固定資産合計	5,636	5,877
投資その他の資産		
その他	83,793	89,918
貸倒引当金	△1,369	△1,447
投資その他の資産合計	82,423	88,470
固定資産合計	175,538	181,661
資産合計	773,427	820,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	438,072	493,683
短期借入金	552	527
未払法人税等	7,429	1,649
賞与引当金	3,681	1,872
役員賞与引当金	43	33
資産除去債務	—	29
その他	21,527	17,081
流動負債合計	471,305	514,877
固定負債		
社債	22,092	13,145
長期借入金	6,074	5,786
債務保証損失引当金	148	279
退職給付に係る負債	2,539	2,665
資産除去債務	2,846	2,854
独占禁止法関連損失引当金	4,849	4,849
その他	14,134	16,151
固定負債合計	52,684	45,731
負債合計	523,990	560,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	45,212	46,583
利益剰余金	209,746	217,297
自己株式	△30,907	△32,737
株主資本合計	234,701	241,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,770	22,097
土地再評価差額金	△4,283	△4,283
その他の包括利益累計額合計	14,486	17,813
新株予約権	144	126
非支配株主持分	104	115
純資産合計	249,437	259,849
負債純資産合計	773,427	820,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	1,119,549	1,162,052
売上原価	1,033,049	1,070,935
売上総利益	86,500	91,117
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	33,500	34,377
賞与引当金繰入額	1,608	1,872
役員賞与引当金繰入額	32	33
退職給付費用	213	251
福利厚生費	5,832	6,047
車両費	784	763
貸倒引当金繰入額	△156	143
減価償却費	4,414	4,034
のれん償却額	202	122
賃借料	6,304	5,959
租税公課	1,630	1,493
仮払消費税の未控除費用	5,013	5,129
その他	15,537	16,559
販売費及び一般管理費合計	74,918	76,788
営業利益	11,581	14,329
営業外収益		
受取利息	40	67
受取配当金	945	875
持分法による投資利益	313	171
不動産賃貸料	633	613
その他	518	411
営業外収益合計	2,452	2,140
営業外費用		
支払利息	46	32
不動産賃貸費用	135	133
債務保証損失引当金繰入	—	131
その他	234	120
営業外費用合計	415	417
経常利益	13,618	16,052

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	22	4
抱合せ株式消滅差益	—	22
その他	6,902	0
特別利益合計	6,924	28
特別損失		
固定資産処分損	139	58
減損損失	—	33
関係会社株式評価損	122	—
その他	8	10
特別損失合計	269	102
税金等調整前四半期純利益	20,273	15,978
法人税、住民税及び事業税	6,632	4,983
法人税等調整額	160	731
法人税等合計	6,792	5,714
四半期純利益	13,480	10,263
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,470	10,252

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	13,480	10,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,077	3,357
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△31
その他の包括利益合計	△1,097	3,326
四半期包括利益	12,383	13,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,373	13,579
非支配株主に係る四半期包括利益	10	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	医薬品製造 販売事業 (百万円)	その他 周辺事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,043,989	70,355	1,800	3,405	1,119,549	—	1,119,549
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	37,269	9	6,184	1,035	44,498	△44,498	—
計	1,081,258	70,364	7,984	4,440	1,164,048	△44,498	1,119,549
セグメント利益	11,758	1,446	686	258	14,150	△2,568	11,581

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	医薬品製造 販売事業 (百万円)	その他 周辺事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,084,169	72,200	1,969	3,712	1,162,052	—	1,162,052
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	37,201	20	6,692	1,399	45,313	△45,313	—
計	1,121,371	72,220	8,662	5,111	1,207,365	△45,313	1,162,052
セグメント利益	14,262	734	543	513	16,054	△1,724	14,329

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	4,663百万円	4,313百万円
のれんの償却額	202百万円	122百万円